※令和４年度以降入学生用

学校番号	1001

令和５年度　体育科

教科	体育	科目	ライフスポーツ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向け、多様な種目を経験することにより、スポーツの多様な楽しみ方を経験・理解してほしい。
・障がい者への関心を持ち、スポーツのもつ可能性を感じ、障がい者の特徴を学び、実際に障がい者スポーツを実践しビデオを観て学習し､一生涯どんな人でも楽しんで運動に興味を持ってもらうことをねらいとした授業を目指す。

２　学習の到達目標

(1)生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3)障がい者の特性を理解しスポーツを通じて、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。（１）心と体を一体として捉え、生涯にわたって健康に楽しんで、運動と関われるよう知識を増やしていく。
・障がい者へ関心を持ち、スポーツのもつ可能性を感じ、障がい者の特徴を学び、実際にスポーツを実践して理解する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識を活用し、生涯にわたって継続して楽しんでスポーツに関われるよう取り組みを工夫できる。 障がい者とともにどのようにしたら関われるのか、また障がい者スポーツを実践して考えることができる。	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康で安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 障がい者の気持ちや障がいの有無や違いを理解して、障がい者とともにスポーツを楽しむ態度を身に着ける。	生涯にわたって、継続して運動に親しむために、互いに協力し、一人ひとりの違いを認め寄り添い、障がい者の気持ちも理解し健康・安全を確保している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	障がい者スポーツ	オリエンテーション 障がいの種類や精神 シッティング 　　バレーボール 車椅子バスケット 　　ボール サウンドテーブル 　　テニス ゴールボール 伴走マラソン	a:障がい者の身体・精神の特徴を知り、障がい者スポーツを実践しスポーツの可能性を感じ健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。 b:ねらいに応じて障がいの度合い等理解し、実際にビデを観て運動の計画を立てるとともに取り組み方を工夫している。 c:実践を通して積極的に協力して体を動かせている。	レポート	プレゼンテーション レポート	技術 協力性
後期	レクリエーション	アルティメット ゲートボール ゴルフ インディアカ キンボール チュックボール ボッチャ キックベース ＊種目は変更する 　可能性がある。	a:ニュースポーツのルールを知り、実践してスポーツの楽しさを感じ技能を伸ばし、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:ねらいに応じてニュースポーツを理解し、運動の計画を立てるとともに取り組み方を工夫している。 c:実践を通して積極的に協力して体を動かしている。	スキルテスト 観察 学習レポート	観察 学習ノート	観察 協力性 学習ノート

※令和４年度以降入学生用